



JASDAQ

平成 24 年 6 月 20 日

各 位

会 社 名 株式会社 EMCOM ホールディングス  
代表者名 代表取締役社長 金 学敏  
(JASDAQ・コード 7954)  
問合せ先 経理部長 菊池 貴之  
電 話 050-3155-4370

## 「汚染土壌処理システム」に関するPCT出願(国際出願)手続きの完了について

当社は、平成24年4月24日付適時開示「資源流通事業開始に関するお知らせ」にてお知らせしておりました「土壌除染システム」について、特許出願申請すべく準備を行ってまいりましたが、平成24年6月13日付で日本大学産官学連携知財センターを通じて当該発明案件のPCT出願(国際出願)手続きを完了いたしましたのでお知らせいたします。

### 記

#### 1. 当該案件の発明及び特許出願の経緯・趣旨

当社は、このたび日本大学工学部との共同研究により、汚染土壌の洗浄剥離による「汚染土壌処理システム」を開発いたしました。

つきましては、日本大学産官学連携知財センターを通じて当該発明案件のPCT出願(国際出願)手続きを完了いたしましたのでお知らせいたします。

この「汚染土壌処理システム」の開発は、放射線による汚染土壌が拡大している、福島県内の現状に鑑み、その汚染土壌の減容化、除染土壌の再利用化等を目的として開発が行われました。株式会社R&Dテクノ・コーポレーション(特殊エジェクター(HSE)の開発・設計・製造、HSE に関わる技術支援及び作業支援)、ネイテックシステム株式会社(特殊エジェクター(HSE)の開発・設計・製造、HSE に関わる技術支援及び作業支援)両社の技術協力および日本大学工学部の研究支援のもと、共同研究を進めて参りました。

また、PCT出願(国際出願)とは、特許協力条約(PCT : Patent Cooperation Treaty)に基づき、ひとつの出願願書を条約に従って提出することによって、PCT加盟国であるすべての国に同時に出願したことと同じ効果を与える出願制度です。

上記2社および1学校法人を含めた3社および1学校法人による共同出願を行いました。

今後につきましては、『汚染土壌処理システム』の早期実用化に向けて、皆様が求めるニーズに応えるべく、革新的で利便性の高いシステムを開発、提供してまいります。

## 2. 「汚染土壌処理システム」の概要

### ■ 開発成果

- 特殊エジェクター(空気搬送高圧ジェット水流で汚染土壌を土粒子ごとに分離する装置)を用いて、土壌成分中の粘土粒子を迅速簡便に分離できる装置を開発した。
- 分離後の土壌の放射能は約 89～95%の範囲で除染され、除染された砂礫層の放射能は約 500Bq/kg以下であった。
- 特殊吸着剤であるフライト濾過槽の水循環装置を用いた粘土層(5 $\mu$ m以下)を含む懸濁水の処理システムを開発した。
- 土壌の迅速簡便な分離が可能であり、放射能汚染土壌の処理速度は 15m<sup>3</sup>/時間である。また、1工程の処理時間は3分以内である。
- 粒径(1mm以上)の砂礫層(除染率 90%)の回収率は 40～75%の範囲であった。

### ■ 発明等技術の応用可能な範囲、製品、用途等

- セシウムで汚染された土壌を高速で除染できるので、土壌除染装置として利用できる。発明は、上記のように5つに分けることができそれぞれ独立の装置として構成することが可能である。

### ■ 発明等に係る研究の継続・発展の可能性

- 本発明は、放射性セシウムに汚染された土壌の除染に効果的であり、福島県内各地の汚染土壌の処理に今後の利用が見込まれる。

## 3. 連結業績に与える影響

本件による当社の平成24年12月期の連結業績予想に与える影響につきましては、現在、精査中ですが、業績への影響が判明次第お知らせする予定でございます。

以 上